

ある。

何故か。規定された混用割合は、(一)、着色セル三割以上、(二)、毛布(腰掛を含む)三割以上、(三)、梳毛糸を用ひざる羅紗二割以上、(四)、フランネル二割以上、(五)、メルトン式番手以下の梳毛糸を三本以上撚合せたる手編毛糸三割以上、(六)、モスリンは原則として禁止、(七)、毛糸は、人造纖維其他毛にあらざる纖維を混用する場合に於て、その混用割合は、重量に於て五割、四割、三割、二割又は一割なることとなつて居るが、要之、紡毛糸はその紡出に當り、必ず、他纖維二割以上混用するの要があり、紡毛糸は、必ず、混紡する必要なきも、梳毛糸を原糸とする織物は、三割以上を、大體、混織する必要があるのである。その結果として、左の如き現象は、必然的に考へられるではないか。

(一)、梳毛糸部門は、本來、純毛方針を維する情勢にあり、且つ、混用強制の品種も、混紡を避け、混織に向ふ傾向にあるが故に、純毛糸生産が主となり、原毛抑制に應じて減産の筋合となるは必至であること。

(二)、人織其他の纖維を混織混紡することは、それだけ、原價を低下せしむるかも知れぬが、然し、製品市價にしても、一層下落するであらう。ステープルファイバー混織品として、品質の低下は避け難いが故に。従つて、割高な羊毛コストのみが残り、企業収益を悪化せしむること、況んや、人織、其他纖維の混用は、必ずしも、コストを低下せしめな

いに於てをやだ。
(三)、毛織工業會社は 大部分、梳毛糸専門である。紡毛糸併産の會社ですら、梳毛糸が多い。その梳毛糸に於て、生産減が餘儀なくされて居るのだから、その打撃たるや輕微ではないこと。

原價高の壓迫は必至 更に、世人は云ふ。原料不足で生産減となつたり、採算悪化對策として操短が擴張されることは、必ずしも悲觀を要しない。何とならば、生産減で以て市價の騰貴となるからして、原價高が緩和されると。これまた、非常な誤りである。と云ふのは、左の理由に依る。

(一)、操短擴張、従つて、生産設備の過剰は、原毛不足と云ふ本質的のものであるから操短擴張は、必ずしも、製品市價の騰貴(原價高に應じた)を來さないこと、

(二)、輸出不振と、消費節約は、今後の需要減を結果する。従つて、消費力の減少する今日今後、操短の擴張は、必ずしも、製品市價の騰貴を來さないこと。況んや、左表にも見るが如く、毛織製品の在荷が増加し、之に反して、羊毛在荷が減少しつゝあり、従つて

	毛糸	毛織物	羊毛
十一年八月	一六、五九六	三七、二九五	一九五、六九一
十二年一月	二一、五四五	三四、〇六八	七七、六三七
三月	三二、六〇八	三四、三一七	一四八、〇八六
六月	四六、〇五八	四七、〇五七	二六七、八七二
八月	五九、三六七	五一、九四〇	二三二、九二七

製品安の原價高を拍車せんとしつゝあるに於てをやだ。

(三)、原料の抑制は、假令、今事變が一段落しても緩和されない。戦時經濟は持續する

から。従つて、原料不足、操業短縮、原價高は持續的であり、従つてまた、從來の如き需給關係の悪化より來たる一時的の操短と混同出來ぬこと。

減配時代來らん

以上の點から推して、毛織會社の収益減は必至である。既に、毛織會社の採算狀勢は、

	利益金 千圓	利益率 %	配當率 %	社内保留率 %
東洋モス	一、〇九一	二〇・二	八・〇	六三・〇
大東紡	四八四	一一・四	三・〇	七一・八
日本毛織	六、〇六七	二・四七(特)	五・〇〇	五三・五

赤字を示して居るのだから。然らば、減配は起つて來るか云ふと、本年上期には、右の如く、各社とも好成绩を挙げ、相當のレザープを行つて居るから、下期、減配となる様なことはないにしても、來年上期には、毛織會社は、減益とレザープの減少とからして、減配の外なきものと見られる。従つて、毛織株は、減配不安株として、警戒の外はないので

ある。

制約条件より見たるゴム株

ゴム株の制約条件

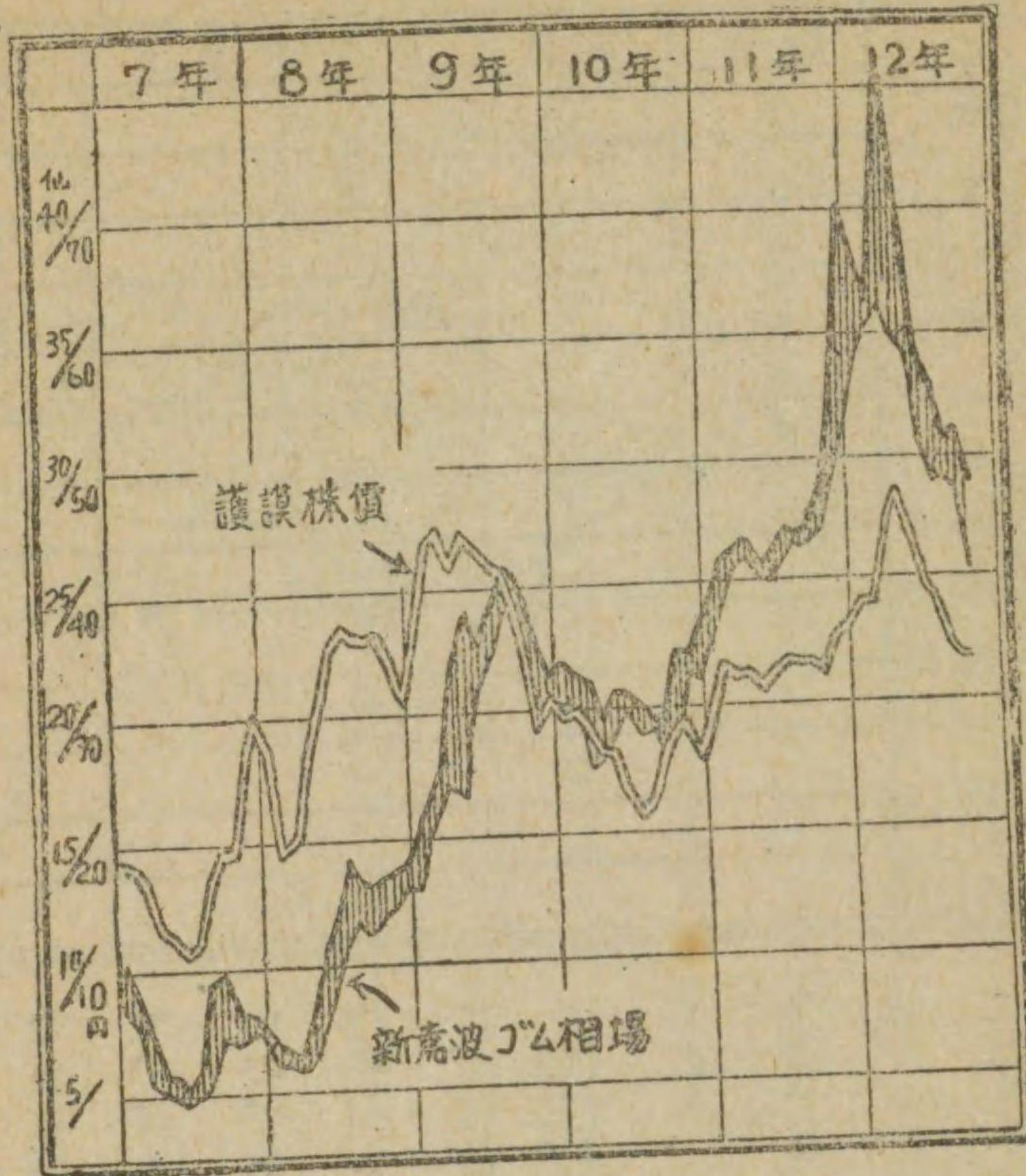
ゴム株の制約条件として、(一)、業績、(二)、配当力、(三)、景氣、(四)、株界環境、(五)、ゴム相場等々種々あるも、その裡、ゴム株を以て支配する根本的條件は、ゴム價である。何故であるか。ゴム相場の動向こそ、ゴム會社の業績、並に、配當力をば決定する根本的條件であるからだ。

ゴム會社は、ゴム相場の下落時代には儲らず、ゴム相場の騰貴時代には、非常に儲かる様に出來上つて居るからである。それと云ふのも、ゴム事業は、一面、農業に近く、従つて、景氣不景氣に不拘、農園維持費に變りなく、従つて、ゴム相場の動向は、直ちに、ゴム會社の収益状態をば支配する機構にあるからである。

その當然の結果として、収益力の反映である處のゴム株は、ゴム相場の動向と一致する

業事の『代時の物』

ゴム價は、次頁表を見ても明かなる如く、海外ゴム相場の動向とは一致して居ない。過去



ものであつて、現に、左表は、これを雄辯するであらう。

従つて、ゴム株に對する觀測の正否は、ゴム價の前途をば正確に認識するかどうかに依つて、決定すると言つて過言ではないのである。

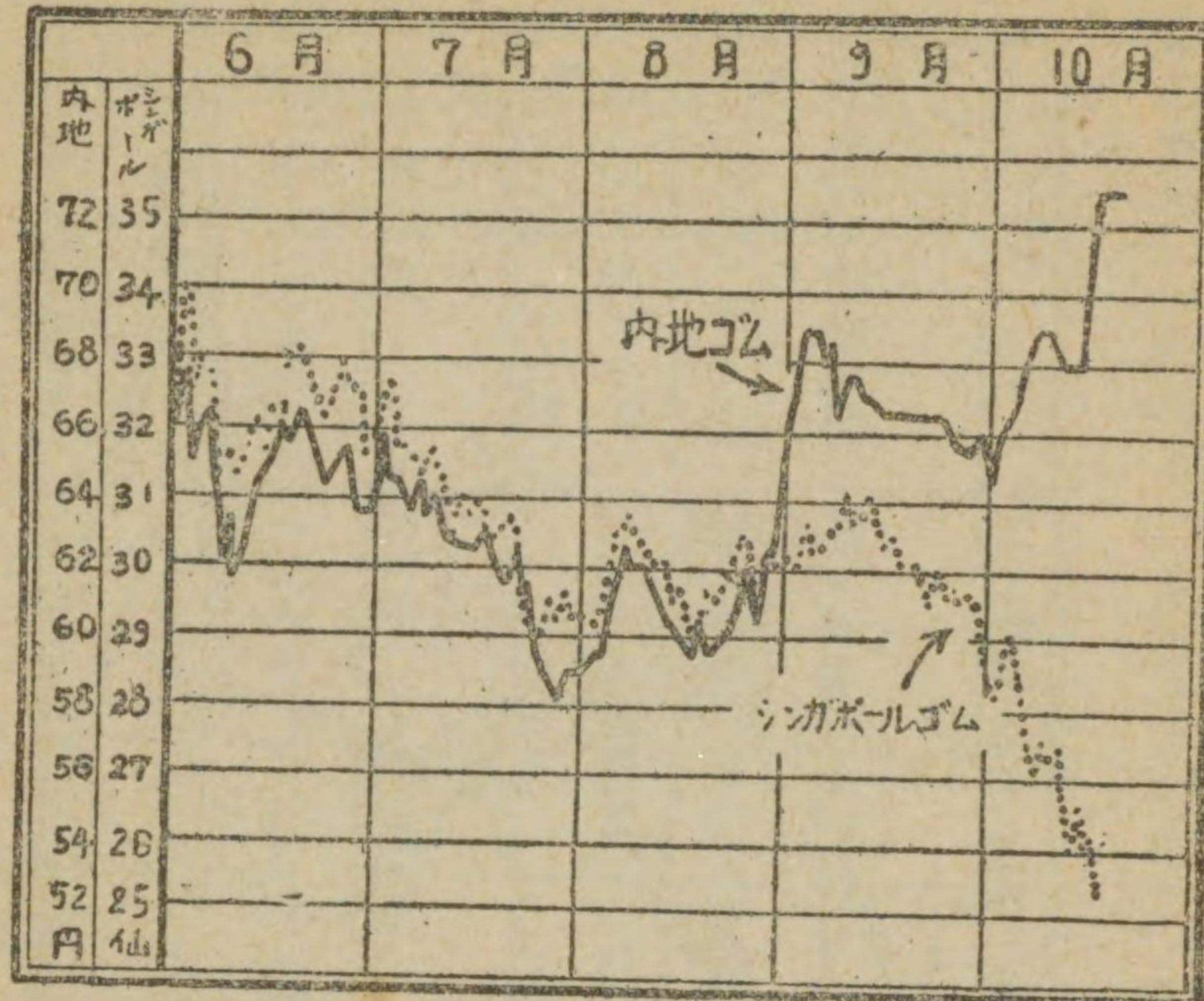
ゴム價の狀勢

處が最近、

内地のゴム價は、強調傾向を辿つて居るので、この角度からして、ゴム株の前途を樂觀せんとする者あるが、夫れは、非常なる認識不足である。最近の内地

社の収益採算が決定されるからである。

ゴム株はどうか 然らば、海外ゴム相場が高くなるであらうか。問題はこれであるが、ゴムは世界商品として、世界景気に支配される。處が、世界景気はよくない。殊にゴムの最大消費市場たる英米の景気は、全く以て天井を打つて、反動状態を辿らんとしつゝあるのだから、従つて、海外ゴム價の騰貴も、また期待薄である。とすれば、ゴム價の低迷を反映して、ゴム株價もまた、低迷傾向を辿らざるを得ぬのは、理の當然である。況んや、新嘉坡ゴム價が二十六・七仙臺で保合つて居る限り、ゴム會社の収益は悪化し、本年以上期の決算は、相當、窮屈化し、従つて、減配不安をば内藏するに於てをやである。



蓋し、ゴム會社は事業の海外進出を行つて居るために、新嘉坡ゴム相場に依つて、ゴム會

の如く、内地ゴム價は海外ゴム相場の寫眞である場合には、内地ゴム相場の動向を見て、ゴム株の前途を觀測しても、大過はないのであるが、最近は、内地ゴム相場は、海外ゴム相場の動向に逆行して居るが故に。何故、内地ゴム相場は、海外ゴム相場に逆行して、強調を示して居るか云ふに夫れは、輸入統制の結果として、ゴム價は不足高を示しつゝあるに過ぎないのである。が、何れにせよ、海外ゴム價が騰貴して來ない限り、ゴム株は高くはならない。

硫安事業の見透し

生産費高を如何に轉嫁するか

硫安生産費は、硫化礦、石炭、カマス等の昂騰から一吨當り十圓以上昂騰する。とすれば現在の十貫目建値に直して、三十五錢から原價が上るから、少くとも硫安會社の收益を現状通りに確保する上には、十貫三圓九十錢の公定價格を必要とする。

然るに、本年一―三月は三圓六十三錢、二月三圓六十八錢、三―七月三圓七十三錢に決定されるから、豫想より十五六錢、随にして四圓五錢方安い。それ丈け硫安會社の收益は低下する筋合であるが、原價の上るのは漸次的であるから、大體、本年も昨年同様の利益はまづ豫想出来る。

然し、需要の増加と生産力擴充の不進捗との二點より見て、硫安相場如何に販賣會社が出来、一元的に統制されても、昂騰するは必然であつて、外安の輸入増加による短期間に匡救する方途がなからう。

何故生産不足するか

肥料工業法施行で、價格が公定價格となり、束縛されるのに、生産費は物價高から増加するし、又建設費が安い頃に比し、五割以上昂騰して居るからして、到底豫想される様な公定價格の下では企業はペイしない。平均利潤を擧げ難くなり、硫安工業が如何に生産力の擴充に迫られても、實際問題として増産されないものである。

業事の『代時の物』
現に昭和にしても、日窒にしても、又東洋高壓にしても、建設一段落を告げ、之以上増設せんとせないのである。(一)、自然増加、(二)、出征のため農村勞力不足より肥料使用増加の傾向が生じ、又(三)硝酸に轉化する量も多く、結局、需要は増加しても、供給は増さ

ず、殊に外安輸入が本年は三割も手控へられて硫安不足を、更らに、激化するに至つた。

今後の需給

本年度硫安會社の能力擴張は次表の如くである。

滿洲化學	四〇
矢作工業	二〇
多木肥料	二五
日本化學	五五
新潟硫酸	二〇
計	二二〇

實産十七萬噸位であるから、外安、二十萬噸、外に、國內生産百七十萬噸を加へ二百七萬噸で、平時に於てさへ不足する。

況んや戦時體制解消の見透がつかぬ時には、益々、不足は激化されん。昭和十二—十三

年度の國內需要は百九十五萬噸、貯藏用五萬噸、外に爆薬原料として三十萬噸を加へると二百四十萬噸となるから、前記供給力では、必然不足するは瞭である。

増産策を批評す

政府は、五ヶ年五十萬噸増産案を樹立して、現在の能力二百萬噸（實産百五十萬噸）を年二百五十萬噸に張擴する方針であると云ふが、民間會社は、年産一噸の設備に百八十圓を投じ、噸三十圓位の利益では、投下資本に對し、一割六分位の利潤率であるし、銷却を努めたら、七分配も出来ないから増産しないのである。

政府は硫安増産方針として、七千萬圓の特殊會社を設立し、三十萬噸工場建設、民間會社への投資案と民間會社に建設費の補助をなす案と二つあり、何れ企畫院に於て審議考究して具體案の決定を見るであらうが、半民半官の特殊會社は、民間資本の吸収に困難があり、又この會社の生産原價が却つて高くなると、民間會社の利益をば保證する事となる

し、硫酸低價政策と矛盾して来て、農村に安價に供給すると云ふ、肥料國策と衝突して來る。又、民間會社を補助して増産させる案は、年産一吨百八十圓の建設費に對し、十圓乃至十五圓補助し、現在の建設後三ヶ年免稅を五ヶ年に延長する案であるが、百八十圓の建設費に十五圓の補助では、到底増設促進を所期し得ないと思はれる。結局増産は中々困難とならう。とすれば硫酸は愈々不足する。不足分は外安の輸入による外ない。外安は十貫目四圓五十錢につき、必然補償の問題を生ずるが、既に二十萬吨の輸入につき補償の豫算を計して居るが、硫酸不足にして激化するは必條であるから、既設會社は増設増産益なしとしても、利益は甚だ良い。

『金か・物か』終り

昭和十三年二月十四日印刷
昭和十三年二月十七日發行

『金か、物か』
定價一圓五十錢

不許複製



著者 勝田貞次
發行者 伊藤隆文
東京市芝區田村町四丁目十八番地
印刷者 青野仙吉
東京市芝區田村町四丁目二番地

東京市芝區田村町四丁目十八番地

今日の問題社

振替東京五九七四八番
電話芝(43)三〇〇七番

發行所

發賣元

東京堂・東海堂・北隆館・大東館・上田屋・大阪屋號・栗田書店・新正堂(京阪神)
川柳書店・星野書店・金文堂・大坪博信堂

◇今日の問題社・刊行書目◇

本社出版の單行本は全国の書店にて發賣して居りますが、品切の節は直接本社へ御便宜の方法で御注文下さい。

中日實業副總裁
高木陸郎編

北支經濟案内

北支の事業・商賣・生活・旅行の案内書。

興版・三〇頁・上製
價一圓三錢(一三〇)

池崎忠孝著

世界に立つ日本

歐洲の現状を解剖して戦後日本の進路を説く

興版・七〇頁・假製
價一圓(一〇〇)

王子製紙社長
藤原銀次郎著

事業學・人間學

徳富蘇峰翁が推獎する處世書。

興版・三〇頁・上製
價一圓三錢(一三〇)

及川中將序
古澤・西共著

この海空軍

海軍航空部隊の發達と上海空爆戦の實記。

興版・二六〇頁・上製
價一圓三錢(一三〇)

後藤朝太郎著

隣邦支那

白日下に暴露された現實支那の正體。

興版・三〇〇頁・上製
價一圓三錢(一三〇)

野田經濟研究所長
野田豐著

戦争と財産

戦争がはじまつたら財産はどうなるか。

興版・三〇〇頁・上製
價一圓二〇錢(一二〇)

不動貯金銀行頭取
牧野元次郎著

私の處世法

財界の偉人が體驗を語る處世談。

興版・二五〇頁・並製
價八〇錢(八〇〇)

牧野元次郎著
石山賢吉著

人間を作れ・金を作れ

其道の權威が語る處世修養金儲けの話。

興版・六〇頁・上製
價一圓三錢(一三〇)

本間俊一著

戦後の教育改造

長期戦下の我國教育を如何に改造すべきか。

興版・二五〇頁・並製
價五十錢(五〇〇)

三島康夫著

赤軍の新研究

赤軍の陣容、戦術、人物に關する研究の書。

興版・二五〇頁・並製
價八十錢(八〇〇)

野田經濟研究所長
野田豐著

軍部と財界

軍部の動向と財界の諸問題を解説したもの。

興版・二五〇頁・並製
價八十錢(八〇〇)

海軍少佐
齋藤直幹著

戦争經濟讀本

日本經濟は如何に統制されて行くか。

興版・二五〇頁・上製
價一圓(一〇〇)

戸坂潤著

現代日本の思想對立

日本に於ける思想は如何なる動向をたどるか

興版・三〇〇頁・並製
價六十錢(六〇〇)

景氣研究所長
勝田貞次著

金か物か？

金の時代か物の時代かこれからの經濟の動き

興版・三〇〇頁・上製
價一圓三錢(一三〇)

柳家金語樓著

旦那と奥さん

金語樓の新作落語二十編を収めたもの。

興版・三〇〇頁・上製
價一圓(一〇〇)

王子製紙社長 藤原銀次郎氏著

事業學・人間學

四六版・三〇〇頁・上製
價一圓三十錢(送料十錢)

徳富蘇峯先生は、本書を天下に推奨して生きた人間學の書として絶讃された！
これからの事業經營法とこれからの人生學を財界の巨人、大藤原氏に聞け！

不動銀行頭取 牧野元次郎氏・外三名共著

人間を作れ・金を作れ

四六版・二八〇頁・上製
價一圓三十錢(送料十錢)

牧野元次郎氏、石山賢吉氏、喜多壯一郎氏、井關孝雄氏、何れも其道の苦勞人が筆を揃へて、處世修養と金儲けの話を書いたもので、各方面好評、熱讀の書である。

後藤朝太郎氏著

隣邦支那

四六版・三〇〇頁・上製
價一圓五十錢(送料十錢)

『これがほんとうの支那だ』隣邦支那の赤裸々な姿を知ることこそ、現代日本人にとつて一番重要なことだ。常識では分らない支那の性情を支那通の第一人者が説述した唯一の書だ！

柳家金語樓著

旦那と奥さん

四六版・三〇〇頁・上製
價一圓(送料十錢)

笑ひにかけては當代右に出づる者のない金語樓さんが、腕にヨリをかけて書き上げた新作落語二十編を収めて一冊とした讀み出したら面白くて、可笑しくてやめられない好讀物！

野田經濟研究所長 野田 豊著 四六版・二八八頁・上製

戦争と財産

定價一圓二十錢 (送料十錢)

戦争へ！ 世界をあげて戦争へ突進しつゝある。もし日本が戦つたら財産、事業、商賣、株式、各人の生活と地位とが、どうなるか？ それらを守るには、どうしたらよいか？ 本書は此の問題に對する、親切なる解答書であり、指導書であり、戦争への用意書である。

内容
◇戦争中財産を如何に運用したらよいか ◇不動産はどうするか ◇預金は
どうするか ◇社債はどうしたらよいか ◇株式は如何に運用するか ◇金持
はどうなるか ◇資本家はどうか ◇地主はどうか ◇中小工業者
はどうなるか ◇サラリーマンはどうか ◇農村はどうか ◇養蠶家
はどうなるか ◇産業はどう轉換されるか ◇財界にどんな影響があるか ◇
産業統制省が出来る ◇利潤投資の統制はどうか ◇其他數十項

發賣數日にして一萬部突破！ (全國書店にあり。品切れの節は本社直接御申込下さい。)

今日の問題社發行

忽ち十版

不動貯金銀行頭取 牧野元次郎著

私の處世法

四六版・二五〇頁 並製・清裝 定價八十錢 送料九錢

此の書は、實踐不能の理想を机上で説いた巷間の修養書とは全く内容を異にした當代隨一の處世書である。牧野さんが、五十年の血の出るやうな體驗より割り出された處世談である。

初版上梓以來、各方面より非常なる御好評、御推獎を頂いて、版を重ねること二十版、或は教育界に、或は店員、社員の修養書として、或は各種修養團體、圖書館の備付書として、御申込を受けた良書である。残部僅少に付、至急御申込を乞ふ。

今日の問題社發行

好評十二版

◇御申込は本社直接同封のハガキで願ひます。前金御申込の節は振替又は爲替で願ひます。切手一割増

文部省參與官 池崎忠孝氏著

世界に立つ日本

四六版・二七〇頁・並製
定價 一圓(送料十銭)

日本の將來を斷じて、其の進路を明確に指示し、歐洲の情勢を解剖した劃期的の大著述！

支那事變を契機として、現代日本は、極東の日本ではなく、世界の日本として躍進するに至つた。しかし其處には幾多の難關と危機とがある！ 五年後、十年後の日本は、果してどうなるか？

本書は、著者が該博なる知識と、犀利なる批判力と、現實的な資料とに基いて現代歐洲の情勢を嚴密に検討して日本の立場を明かにした問題の書である。

前文部大臣 安井英二氏序・本間俊一氏著

戦後の教育改造

四六版・一六〇頁・並製
價 五十銭(送料六銭)

長期戦下の根本問題は教育問題である。わが國教育を如何に改造すべきか！ 本書は、日本教育界に投ぜられた改革の炸烈彈である！

世界大戦後、敗戦國獨逸が如何に祖國の教育問題に力を注いだか、今日獨逸が世界を戦慄せしめるに充分な躍進を遂げつゝあるのは、ナチス、ヒトラーが獨逸の教育を根本的に改造して國力の充實に努めたからである。

讀め！ 教育家はもとより、軍人、學生、政治家、實業家、宗教家、苟しくも教育問題の重大性を知る者は即刻！

中日實業副總裁

高木陸郎氏編

北支經濟案內

四六版・三二〇頁・上製
價一圓三十錢(送料十錢)

著者高木陸郎氏は、數十年間北支に關する事業家として知られ、今日北支が日本の手による開發を待つ情勢となつた時、氏の手腕と經驗に期待する所大なるものがあるとされてゐる。

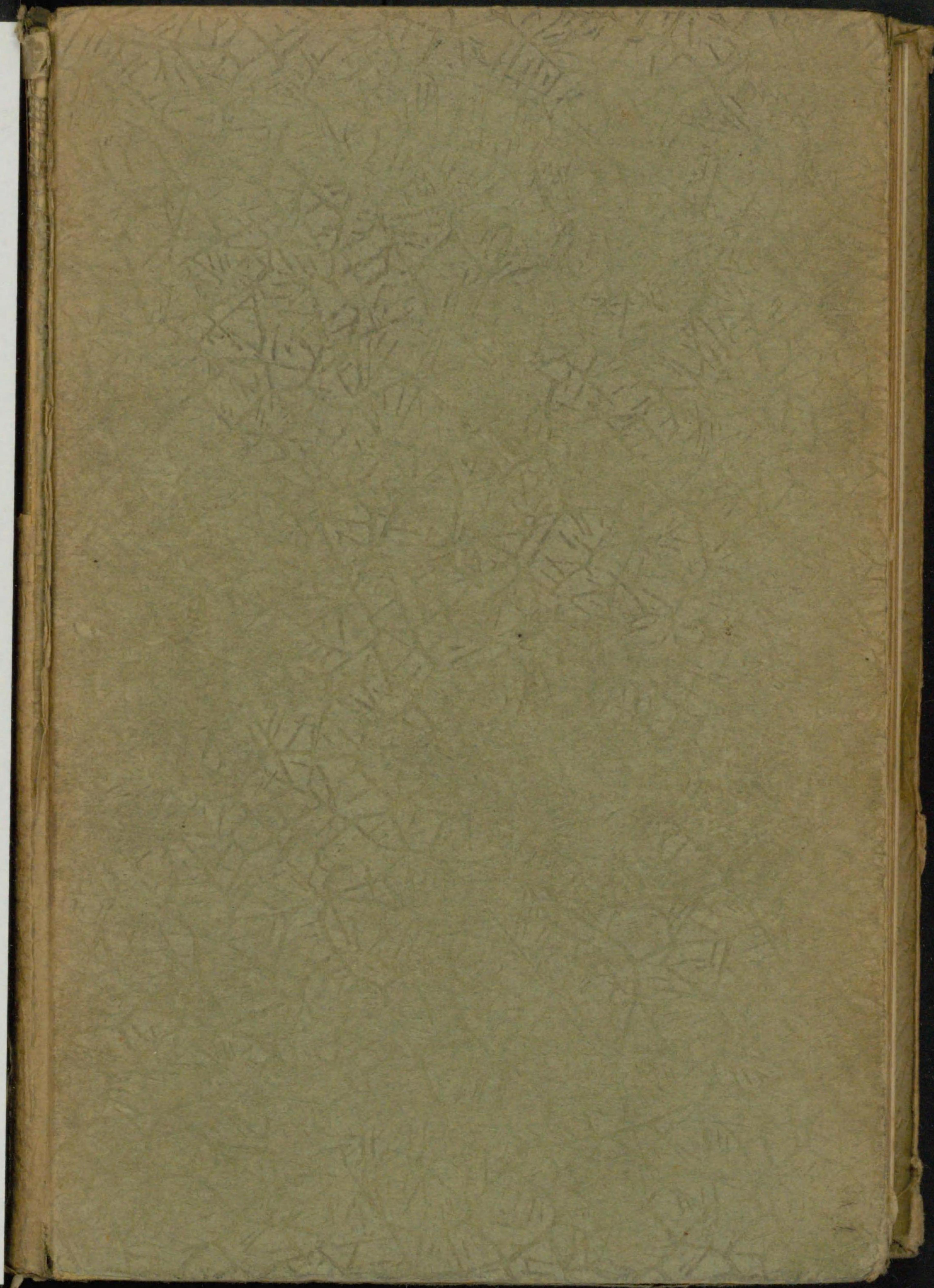
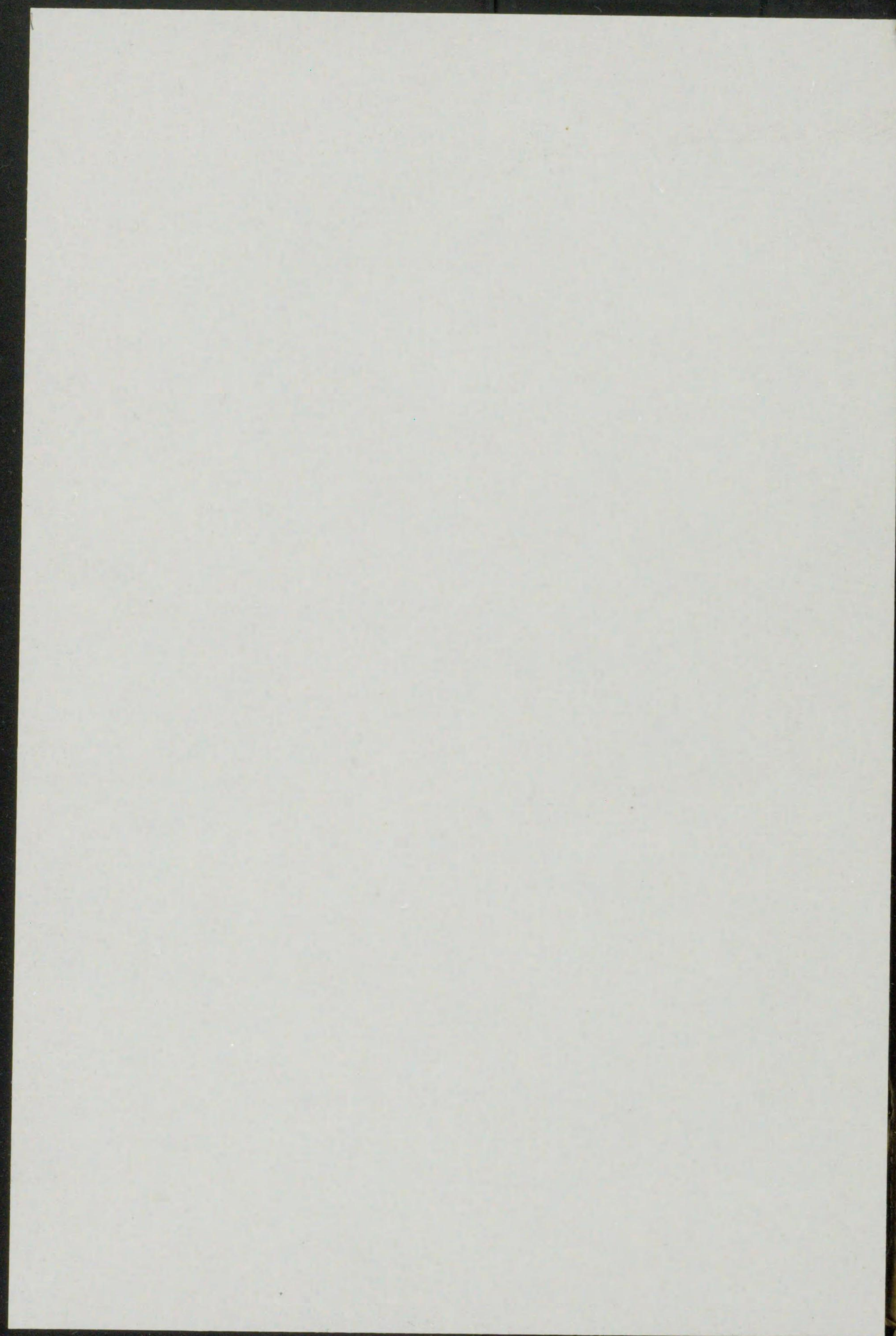
北支とはどんな所か、北支にはどんな資源があるか、どんな商賣と事業が良いか、北支にはどんな金儲けがあるか、北支へ旅行し、北支で生活をはじめするには、どうしたらよいかを何人にも分るやうに書かれた北支案内の決定版である。

744
50

13年2月22日 丁/

物	物	物	物	物	物	物	物	物	物
物	物	物	物	物	物	物	物	物	物
物	物	物	物	物					

閱覽濟

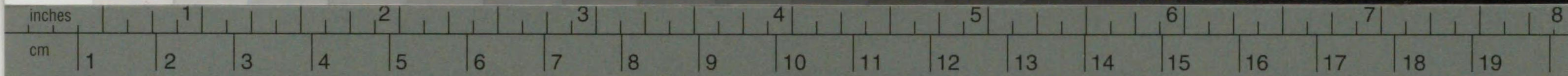


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

